

令和8年度在宅歯科医療連携室機能強化事業

在宅歯科医療研修会

終末期医療について

～歯科の役割と口腔緩和ケア～

平素より弊会の事業運営につきましては、格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。
この度、日本大学歯学部摂食機能療法学講座 主任教授 米永一理 先生をお招きし、医科・歯科双方の
ライセンスを有する立場から、口腔緩和ケアと終末期歯科医療の最前線について解説していただきます。
この機会に是非ご受講をよろしくお願いいたします。



講師 米永 一理 先生

日本大学歯学部摂食機能療法学講座 主任教授
日本大学医学部内科学系総合診療学分野 兼担教授
東京大学医学部老年病学 非常勤講師
鹿児島大学歯学部同窓会 副会長

2026 **12.12**(土)
15:00-18:00

人生の最終段階において、口腔は「食べる」「話す」といった人としての営みを支えるだけでなく、苦痛や安楽にも深く関わる。一方、全身状態の悪化に伴い、口腔乾燥、疼痛、粘膜障害、痰や分泌物の貯留、口臭、摂食嚥下機能の低下など、さまざまな口腔の問題が生じる。本講演では、終末期医療における歯科の役割を多職種の視点から整理するとともに、治療や機能回復のみを目的としない「口腔緩和ケア」の考え方について解説する。さらに、患者の価値観や「食べたい」という思いを尊重しながら、最期までその人らしく過ごすために、歯科医療者が多職種とどのように連携できるのか、実践例を交えて考えたい。

- ・ 形 式：ハイブリッド(来場又はオンライン受講)
- ・ 日 時：令和8年12月12日(土) 15:00～18:00
- ・ 対象者：歯科医師、歯科衛生士、その他コメディカル
- ・ 演 題：終末期医療について～歯科の役割と口腔緩和ケア～
- ・ 参加費：無料
- ・ 申込方法：下記QRコードを読み取りの上、
令和8年12月7日(月) 17:00までにお申し込みください。

タブレット・スマートフォンでご覧の方は
QRコードをタップしていただくとGoogle
フォームが開きます



★この研修は、施設基準「口腔管理体制強化加算(口管強)」 「在宅療養支援歯科診療所(歯援診)」の要件の一部を満たす研修として、各日程受講後に修了証(歯科医師のみ)を送付(会報発送時に同封)いたします。

【問合せ】

熊本県歯科医師会在宅歯科医療連携室 金子
TEL 096-343-8020